

《津波に対する注意ポイント》

1 強い揺れを感じたら津波情報を待たずに逃げる

津波警報や大津波警報の情報については、地震発生後、防災行政無線から屋内外ともに放送が流れますが、神戸海洋気象台からの発表や人工衛星から受信した防災行政無線が自動起動して放送を開始するまで、実際には4分程度の時間がかかります。万一、日本海近海で津波が発生した場合には、防災行政無線の放送を待って避難すると逃げ遅れる可能性があります。このため、立ってられないほどの強い揺れを感じたら、津波が襲来してくる可能性があると考え、揺れがおさまり次第、防災行政無線放送を待たずに避難を開始してください。

2 地震の揺れが小さくても揺れが1分以上続けば逃げる

1896年の明治三陸地震津波では揺れが小さかったため、津波が襲来することを考えず22,000人の犠牲者が発生しました。揺れが小さくても長く続く地震は、大きな津波をもたらします。揺れが1分以上続いた場合は、津波が襲来してくる可能性があると考え、揺れがおさまり次第、すぐに避難を開始してください。

3 避難は徒歩が原則

車両を使用した避難は、渋滞に巻き込まれるだけでなく、避難情報や周辺の状況が把握しにくいので、できるだけ歩いて避難してください。



4 大声で避難を呼びかけながら逃げる

地震津波の時は、隣近所を訪問して避難を誘うよりも、「津波が来るから逃げろ！」と逃げながら大声で避難を呼びかけた方が、効果があります。また、避難時には避難したことが分かるように玄関などに目印(旗や張り紙等)を付けておくと効果的です。

5 津波注意報で海岸から退避、津波警報で高台へ避難する

人は50cmの津波でも立っていることができずに波に足をとられ、海に引きずりこまれます。津波注意報が発表されたら津波襲来を予測し、少なくとも海岸部からの退避が必要です。また、津波警報が発表されたら、海岸部の家から退避し、高台へ避難してください。



6 川から遠ざかる方向に避難する

津波は、まず最初に河口部から河川を遡上しながらやってくるため、できるだけ川から遠ざかる方向に避難をしてください。